広報
あじがさわ
2015
2月
No.525
力を合わせて どっこいしょー！
《主な内容》
▽町長年頭あいさつ
▽あじがく～学生たちの実習活動報告
▽町・県民税及び所得税の確定申告相談のお知らせ
▽認定こども園・保育所等の新入児童募集について
＜今月の表紙＞ みなみ保育園餅つき会　詳細は5ページに掲載

元気あふれる町再生に向け　財政・町民・産業経済の3つの元気を推進

2015年　年頭にあたり―

町民の皆さん、明けましておめでとうございます。
今月号では、平成27年の年頭にあたり、東條昭彦町長に新年の抱負を語ってもらいました。

新年、明けましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、国政においては依然として領土問題を含む外交・防衛政策やエネルギー、経済政策、社会保障など大きな課題を抱えている中で、50年ぶりにコメ政策の大転換を打ち出したほか、国民生活に直結することとしては消費税率が5％から8％へ引き上げられました。安倍政権の経済政策「アベノミクス」の恩恵を実感できない地方においては、生活の負担のみが大きく感じられるところであります。

さて、私は新年においても「元気あふれる町再生」をスローガンに、「財政の元気推進」「町民の元気推進」「産業経済の元気推進」の3つを政策の大きな柱に据え、その実現に努めてまいります。

「財政の元気推進」については、一般会計では平成24年度において予定より1年早く6年ぶりに赤字を脱却、また平成25年度の実質収支も8615万円の黒字となりました。まだまだ財政を取り巻く状況はとても厳しいものがありますが、これも町の財政対策に対するこれまでの町民の皆様のご理解とご協力の賜と深く感謝申し上げます。

堅調な財政運営に向けては、まだまだ予断は許しませんが、今後も赤字決算は回避できるものと見通しが立ったことから、本年4月から軽自動車税の標準税率が改正されることに合わせて、平成21年度から町が導入してきた軽自動車税の標準税率1・3倍の税率のうち、軽三輪及び軽四輪の税率を、元の標準税率に戻すことといたしました。このことにより、新規登録される車両以外はいままでの税額より安くなります。

次に「町民の元気推進」については、これまでも中学生と保護者を対象とした生活習慣病健診、いわゆる親子プロジェクトや各種健診の受診率の向上に向けた取組を進めているところですが、昨年は「元気・寿命・幸せアップあじがさわ健康宣言」を実施、それを機に町内公共施設の敷地内全面禁煙、さらに「第1回あじがさわ元気健康フェスティバル」を実施するなど、町民と行政が一体となった健康のまちづくりへの新たなスタートを切ることが出来ました。今後も町の健康問題を町民が共有し、その解決策を検討する「あじがさわ元気推進会議」を開催していくなど、短命の町返上に向け一層の取組を推進してまいります。

また「産業経済の元気推進」についてですが、昨年は国のコメ政策が大きく転換しようとしている中、米価が著しく下落しました。特に米生産農家にとりましては大打撃であり、生産意欲の低下が危惧されるところであります。

このことから、町では平成26年産米の生産調整に協力していただいた農家に対し、「(仮)主食用米生産費緊急助成金」の交付を実施する考えでおります。

また、引き続き町にある資源を魅力的なものとして町外に発信するタウンプロモーションの取組、着地型観光や地域間交流の推進により交流人口の拡大を図り、産業全体の活性化に取り組んでまいります。

さて、いま国では東京への一極集中を是正し地方の人口減少や高齢化に対応するため、地方が実施する取組に対し国が全面的に支援する、いわゆる「地方創生」を大きく謳っているところであり、私はこの政策に対し大きな期待を寄せているところであります。今後の地方創生の動向を注視しつつ、3つの元気推進を柱に、鰺ヶ沢版の地域創生の青写真を描き、総合的な戦略を組み立ててまいりたいと考えております。

どうか、町民の皆様には一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が町民の皆様に幸多い年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

安心で安全な町づくり
～自衛隊誘致に向けての取組紹介～

☆防衛省等へ要望書を提出

町では、町民生活の安心と安全を確保し、町の活性化につなげたいと平成21年度から自衛隊誘致に取り組んでいます。

今年度は、８月に設立した町自衛隊誘致促進期成会を加え、町、町議会、町自衛隊協力会との４者連名で防衛省、陸上自衛隊、海上自衛隊に対し「鰺ヶ沢町への陸上自衛隊並びに海上自衛隊の配備に関する要望書」を提出しました。

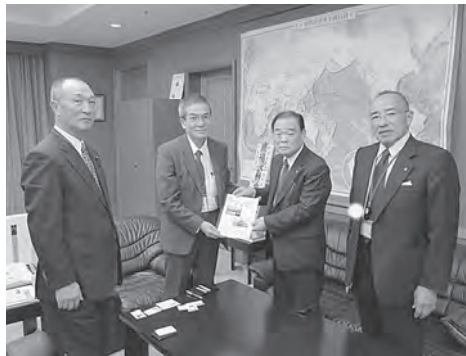
内容については、

①沿岸監視隊及びヘリポート、通信等の演習・訓練場の設置
②海上自衛隊艦船の補給港として七里長浜港の活用
③上記２点に関する現地調査の実施

の３項目で、今年度新たに現地調査の実施を追加し要望しました。

自衛隊側からは、青森県西海岸地域の重要性は十分認識しているものの国防費の関係上、新たに駐屯地等の整備は難しい状況とのことでした。一方で、訓練等における協力について感謝の言葉をいただきました。

また、このような要望は、現場担当の立場では大変ありがたく心強いので、継続していただきたいとの言葉もありました。

町は、今後も訓練や艦船入港等を関係機関に働きかけるほか、自衛隊員が出入りしやすい環境を整備し、自衛隊の誘致につなげたいと考えています。

左から新保町議会議長、西防衛事務次官、東條町長、網野期成会会長
（防衛省にて）

平成26年度の要望書提出先

平成26年11月17日（月）
- 齊藤雅一　東北防衛局長
- 松村五郎　陸自東北方面総監

11月20日（木）
- 江渡聡徳　防衛大臣
- 左藤　章　防衛副大臣
- 原田憲治　防衛大臣政務官
- 石川博崇　防衛大臣政務官
- 西　正典　防衛事務次官
- 黒江哲朗　防衛政策局長
- 岩田清文　陸上幕僚長
- 武居智久　海上幕僚長

12月15日（月）
- 山崎幸二　陸自第９師団長
- 平澤達也　陸自第39普通科連隊長

平成27年１月７日（水）
- 坂田竜三　海自大湊地方総監

左から網野期成会会長、菊谷協力会会長、東條町長、大森幕僚副長
（東北方面総監部にて）

☆東北方面隊・東北防衛局へ同行させてもらいました

11月17日、仙台市の東北方面隊・東北防衛局への要望書の提出に同行した。午後２時、東北方面総監部に案内され、大森丈義幕僚副長に要望書を提出した。「陸自の訓練には何かとご配慮いただいており感謝いたします。地方にあっては訓練が出来ないところもあるなかで、鰺ヶ沢は町民あげて好意的でありがたく思っています。」との幕僚副長からの言葉をいただいた。

午後３時、東北防衛局へ到着し、平松友和企画部長へ町長から要望書を手渡した。

齊藤雅一防衛局長が戻られたということで、表敬訪問することとなった。

局長から「陸自訓練については、特段のご配慮を賜っているとの報告を受けております。その上、陸自海自の合同レセプションを行っていただいていることに対し感謝いたします。」との挨拶があり雰囲気が和やかになった。

●ヘリポートに関しては今後とも検討したい。●鰺ヶ沢は訓練に最適の地であるとの評価をもっている。
●現在国防に関する施設の設置についての要望は鰺ヶ沢町だけである。
●要望の主旨は機会ある毎に本庁へ進言したいと思う。●今後とも陸自の訓練についてよろしくお願いする。

以上のような内容の懇談となった。国防に関することは仕方がないことであり、長い付き合いの覚悟がなければならないと思う。将来、日本海側は国防上重要な地になることは確かなことだから…。

［協力会会長　菊谷　三朗　記］

鰺ヶ沢町域学連携事業『あじがく』
～学生たちの実習活動報告～

昨年度に続き、今年度も夏休み期間を中心に都市部の大学生が多数来町し、様々な活動を行いましたので、その概要をご紹介します。

◎域学連携事業とは

域学とは、地域の域と大学の学を合わせた言葉で、地域と大学が連携して行う地域づくりに関する事業を「域学連携事業」といいます。

この事業は、大学生と大学教員等が地域の現場に入り、地域の皆さんと共に、地域の課題解決や地域づくりに継続的に取り組み、地域の活性化等を図ることを目的に実施しています。

◎連携大学の実習内容

◇法政大学（東京都町田市）

法政大学では、現代福祉学部の学生1名が、8月18日から30日までの13日間、町内でコミュニティスタディ実習を行いました。同大の実習は昨年度に続き2回目となります。

実習は、北浮田町の長谷川自然牧場、建石町の白神アグリサービスでの体験学習のほか、研究テーマとして町内を走る路線バスの実状を調査しました。

路線バスの調査では、実際にバスに乗り利用者数を調べ、鰺ヶ沢病院のバス待合所や深谷地区、長平地区ではバスの利用状況の聞き取り調査も行いました。

◇麻布大学（神奈川県相模原市）

麻布大学の牧場実習は、8月18日から27日までの期間、獣医学部の学生3名が参加して行われました。

長谷川自然牧場での実習は、早朝から豚や鶏のエサやり、豚舎の清掃、加工品作りなど従業員の指導を受けながら作業し、動物に直接触れ、食の重みと自然と共に生きていることを実感した実習体験となりました。

◇東北学院大学（宮城県仙台市）

東北学院大学では、8月18日から20日までの3日間、教養学部の学生8名が来町し実習に取り組みました。

学生たちは、昨年度行った調査結果を基に「買い物難民の課題を解決するコミュニティビジネス」を提案、町商工会、町社会福祉協議会、役場の職員と意見交換し、自分たちが考えた事業がこれからの高齢化社会に有効なのか、高齢者の安否確認や買い物支援について解決策を探りました。

◇江戸川大学（千葉県流山市）

江戸川大学では、社会学部の学生ら12名が、8月29日から31日までの3日間、町のタウンプロモーション推進計画の事業協力でＰＲポスターの作成に取り組みました。

学生たちは、町内の学校や施設、商店を訪ね、元気な人、風景、特産品など町のイメージアップや魅力を伝えるポスターの題材を調査し、ポスターやキャッチコピー、ポストカードの作成に取り組みました。

11月2日と3日の同大学園祭では、学生たちの企画による鰺ヶ沢物産展が開催され、リンゴやお菓子、鶏卵など鰺ヶ沢の特産品を販売し、今年も大盛況でした。

◇東洋大学（埼玉県朝霞市）

東洋大学ライフデザイン学部の学生たちは、6月と9月、11月の3回、のべ21人の学生が来町し、実習に取り組みました。

今年度は種里城跡の整備保存活用計画の策定に協力し、町の歴史を調査しながら城跡のイメージ図、復元模型の制作に取り組みました。

11月23日には、鰺ヶ沢地区町内会連絡協議会のまちづくり研修会に参加し、まちなかの再生について意見を交わしました。

◇東北工業大学（宮城県仙台市）

東北工業大学では、ライフデザイン学部の学生5名が、10月10日から14日までの5日間、実習調査活動を行いました。

学生たちは、鳴沢地区にある旧陸軍第八師団山田野演習場兵舎と将校官舎を実測調査しました。13日には、北開拓集会所で調査結果を報告するとともに、地域の人たちから兵舎が東鳴沢中学校として利用されていた当時の思い出話などを伺いました。同大学では、新年度も調査に取り組み、兵舎の模型や図面を作成する予定です。

◎実習成果の活用

大学生の調査研究の成果等は、今後の町の政策にできる限り反映させたいと考えています。次のとおり報告会を開催しますので、町民の皆さんのご参加をお願いいたします。

あじがく活動報告会のおしらせ

今年度のあじがく（鰺ヶ沢町域学連携事業）の取組など、大学生の活動報告会を下記のとおり開催しますので、ぜひご聴講ください。

◆日　時：2月21日（土）15：00～
◆場　所：山村開発センター　大ホール
◆報告予定校：法政大学、江戸川大学、東洋大学、麻布大学、東北学院大学、東北工業大学

問鰺ヶ沢町域学連携事業実行委員会事務局　政策推進課　地域振興班
［☎(72)２１１１(内２２１)］

めざせ、元気で笑顔の町
元気健康推進会議を開催

12月16日、舞戸公民館で「あじがさわ元気健康推進会議」が開催されました。

これは、地域がさらに一丸となって健康づくりを進めていくために町が初めて開催したもので、各組織や学校など関係者約50名が集まりました。

会議では、「親子プロジェクト事業」を通して見える町の健康課題、長野県飯田市・阿智村視察報告が町保健師から発表されたほか、グループ別による健康づくりについての意見交換などが行われ、参加者は、町民と行政が一体となり健康づくりに取り組んでいくことを再確認していました。

グループ別の意見交換では、それぞれの立場から意見が発表され、内容をまとめました

今月の表紙

力を合わせてぺったん！
みなみ保育園で餅つき会

12月26日、みなみ保育園（大澤綾子園長）で餅つき会が行われました。

まずは、もち米の入った臼を幼児たちが取り囲み大きな声援を送る中、保育士の先生が餅をつきました。

そして、ある程度餅の状態になると、今度は幼児たち全員が餅つきを体験。年長児はひとりで、また、年中以下の子どもたちは2人で一緒に重い杵を持ち上げると、「そーれ、どっこいしょー！」と大きな掛け声に合わせて餅をつきました。

その後、つきたての餅を自分たちで丸めて雑煮にすると、みんな「おいしい！」と笑顔で食べました。

お餅を丸めてちぎるのは、まるで粘土遊び!?
楽しくおいしくいただきました！

ライオンズクラブが
国際平和ポスターを展示

12月27・28日の2日間、鰺ヶ沢ライオンズクラブ（石岡勝会長）が、舞戸公民館で「国際平和ポスター展示会」を開催しました。

展示されたポスターは、町内小中学校の児童生徒が「平和・愛・理解」をテーマに描いた作品で、同クラブがスポンサーとなり、今年度の「ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト」に出品したものです。

なお、このコンテストは、子どもたちが平和を考え、国際理解を強調する機会とし、独自のビジョンを世界の人々と分かち合うことを奨励している国際的なコンテストです。

子どもたちが個性豊かに描いた120作品（西海小20、舞戸小90、鰺ヶ沢中10）が展示されました

消防団出初式開催
新年気持ちも新たに団結

1月11日、鰺ヶ沢町消防団出初式が行われ、町内5分団から団員約400名とポンプ車など43台が参加しました。

団員らは分列行進の後、白八幡宮を参拝し無火災と安全を祈りました。

山村開発センターで行われた式典では、団員による力強い纏振りが披露されたほか、工藤幸弘消防団長が「今日の消防団においては、地域社会の中でなお一層の幅広い活動が求められており、社会環境の変化や時代に沿った体制や役割を講じていく必要があります。団結を強固にし、さらなる努力を」と訓辞を述べました。

寒さをこらえ、力強い分列行進を見せる消防団員

《お詫びと訂正》　広報あじがさわ１月号に以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。　◆訂正箇所：３ページ「平成26年度鰺ヶ沢町表彰式」奨励賞受賞者・平岡竜堂さんの学年　（正）鰺ヶ沢中３年　（誤）舞戸小６年　今回の掲載誤りについて、深くお詫び申し上げます。

アルコール学習会のお知らせ

アルコール依存症とは ～飲み過ぎとどこが違うの？～

「酒は薬！飲めるうちは飲む」「たくさん飲める人が男らしい」「この一杯のために仕事をしている」「酒はストレス解消に一番」「飲めなくなった時が死ぬ時だ」「やめようと思えばいつだってやめられる」みなさんの周りでこのような声を聴いたことはありませんか？

お酒をよく飲む人のほとんどは自分がアルコール依存状態にあるとは思っていないはずです。アルコールはとても強い依存性を持つ薬物でもあることをご存知ですか？習慣的に飲酒をする人で「自分は酒に強い・依存症にはならない」と思っていたら、要注意です。アルコール依存症は「否認の病気」ともいわれ「自分は違う」という思い込みから症状が進行し、家族や友人等周囲の人を巻き込みながら、人間生活のあらゆる領域を破壊し続けていきます。お酒が好きでよく飲むという方、家族がお酒をよく飲むという方、お酒のことを知ってください。

病院で実際にアルコール依存症の方やご家族の相談、治療、リハビリテーションを行っている方を講師にお迎えしてお話をお聞きします。

身近なお酒のことを正しく知り、これからのお酒との付き合い方を考えてみませんか？

★広報と一緒に配布したパンフレットもご覧ください。

《アルコール学習会》

◆日時：2月25日（水）　14：00～15：30
◆場所：中央公民館　2階　大会議室
◆講義：テーマ「アルコール依存症とは」～飲み過ぎとどこが違うの？～
講　師　　布施病院　精神保健福祉士　三浦　良介　氏

◆申込み：２月16日(月)までに、健康ほけん課 健康推進班(㊥177・178)へお申込みください。

☆特定健康診査　個別健診のお知らせ

今年度実施した総合健診で、特定健診を受診できなかった方を対象に、**個別の特定健診**を実施します。

受け忘れた方や、都合のつかなかった方は健診を受けるチャンスです。生活習慣病の予防・早期発見のため、年に一度は健診を受診しましょう。

対　象　者	鰺ヶ沢町**国民健康保険**に加入している40歳（年度末年齢）～74歳（受診時満年齢）で、今年度まだ特定健診を受診していない方
実施病院	つがる西北五広域連合　鰺ヶ沢病院　☎72－3111
実施期間	平成27年３月31日まで
健診内容	特定健康診査（問診・診察・計測・採血・心電図検査等）
自己負担	無　料
申　込　先	健康ほけん課　国民健康保険班（内線165）
受診までの流れ	①国民健康保険班に電話または窓口で申込みをする ＊国保加入者か、すでに特定健診を受診していないか審査します ＊審査後「受診券」「質問票」を発行（郵送）します ②受診希望者本人が鰺ヶ沢病院に受診予約をする ③受診（保険証・受診券・質問票等を持参）

☆健診結果は、郵送により通知いたします。　☆健診の結果、メタボリックシンドロームの疑いのある方は特定保健指導を受けていただきます。対象となった方には個別通知しますので、ご利用ください。

だし活 Part 2

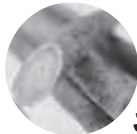
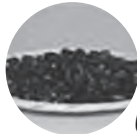
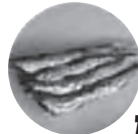
「だしの力」を活用して、減塩を推進する活動「だし活」が、青森県から動き出しています。
だしのうま味には、塩味による味付けを補い、食材の持つおいしさを引き立てる役割があるため、おいしく無理なく減塩できて、生活習慣病の予防や食育につながります。

こんぶ

ほたて

ごぼう

しじみ

焼干し

広報あじがさわ1月号13ページに掲載の「だし活」もあわせてご覧ください

ご自身やご家族、大切な方の未来の健康のために、毎日の生活に「だし」を積極的に取り入れていきましょう。

◎２月の健康相談日程

日　　時	対　　象	会　　場
４日（水）11：00～13：00	大和田	大和田集会所
７日（土）10：00～12：00	小ノ畑	小ノ畑生活改善センター ※にこにこサロンと同時開催
19日（木）11：00～12：00	一丁目・二丁目・米町	中央公民館
23日（月）10：00～12：00	小夜ヶ丘	小夜ヶ丘集会所

◎２月の乳幼児健診の日程

※受付時間をご確認のうえ、ご来場ください。

健　診	健診日［受付時間］	場　所	対　象	持参するもの
1歳６か月健診	**2月19日（木）** ［12：30～12：50］	中央公民館 ２階和室	平成25年６月・７月・８月生まれ	母子健康手帳 バスタオル 送付される問診票　ほか
乳児健診	**2月26日（木）** ［13：00～13：20］	中央公民館 ２階和室	3か月児：平成26年10月生まれ 6か月児：平成26年 8月生まれ 10か月児：平成26年 4月生まれ	母子健康手帳 バスタオル　ほか

問健康ほけん課　健康推進班（内175、176、177、178）

母子支援センターだより

～舞戸小学校「いのちの学習」の授業に行ってきました～

昨年12月５日、舞戸小学校４年生を対象に「いのちの音と誕生」というテーマで「いのちの学習」の授業を行いました。

授業では、鰺ヶ沢町の出生数や高齢社会について触れ、子どもの誕生について胎児人形や新生児人形を見せて話したり、男子児童の心臓の音を超音波ドップラーという機械で聞いて、赤ちゃんの心音と比較しました。おなかの中で成長していく赤ちゃんの人形を見た児童たちは、「かわいい」「こんなに小さいんだ」と驚きや感動している様子が見られ、授業の間、児童の皆さんは目を輝かせて一生懸命話を聞いてくれました。

この日は学校参観日であり、保護者の皆様にも妊娠中・出産時の状況や子どもたちの成長過程を思い出す良い機会になったのではないかと思います。産み育ててくれた家族への感謝の気持ち、いのちには限りがあり大切にして欲しいということ、次世代へいのちのバトンをつなぐことの重要性を感じてほしいと思います。

「いのちの音」を聴いてみよう

本当の赤ちゃんと同じ大きさのお人形を抱っこ

問福祉衛生課 母子支援センター（内300、301）◆メールアドレス：boshi-center@town.ajigasawa.lg.jp

平成27年度町・県民税の申告及び平成26年分所得税の**確定申告相談**が始まります！

■申告期間　**2月16日（月）～3月16日（月）**　（※土・日曜日は除きます）
■受付時間　**8：30～16：00**　（※12：00～13：00は休憩時間）
■申告会場　**役場1階　税務町民課**

問税務町民課　課税班（内131、133）

平成26年1月1日～12月31日の収入や所得控除等について申告してください。申告期間中は会場が混雑しますので、申告相談に必要な書類は、事前に整理・集計しておくとともに、その内容を答えることができる方が申告するようにしてください。

なお、申告していないと所得証明書などの交付や、国民健康保険税、各種福祉関係の料金算定・軽減・支給などの判定ができない場合がありますので、申告が必要な方は必ず申告してください。

◆申告が必要な方
（平成27年1月1日現在、鰺ヶ沢町に住所があり、次に該当する方）

◆前年中の収入が次のどれかにあてはまる方
①営業等、農業、不動産、譲渡、一時、配当などの収入があった方
②給与所得者で、会社で年末調整していない方や、2ヶ所以上の会社から給与を受けた方
③給与または公的年金等の収入があった方で、ほかにも収入があった方
④給与または公的年金等の収入があった方で、源泉徴収票に記載されていない生命保険料控除・社会保険料控除・扶養控除、または医療費控除や寄付金控除・雑損控除などを受けようとする方
⑤平成26年中に会社を退職した方
⑥遺族年金・障害年金受給者

◆前年中に収入がなかった方で、次のどれかにあてはまる方
①誰の扶養も受けていない方（同一世帯内の親族や、世帯外の親族の扶養になっていない方）
②国民健康保険に加入している方
③障害福祉サービスを利用する方や、児童扶養手当を受給する方
④町外に住所がある親族に扶養されている方（単身赴任や、町外に居住している親族の扶養）
⑤税の証明書が必要な方
※上記①～⑤にあてはまる方は、町で配布する「平成27年度町民税・県民税申告書」裏面右下欄に記入のうえ、役場税務町民課まで提出または郵送にて申告してください。

◆申告が不要な方

◆次のどれかにあてはまる場合は、申告が不要です。
①税務署に所得税の確定申告をした（する）方
②給与収入のみの方で、勤務先から鰺ヶ沢町に給与支払報告書（年末調整済）が提出されていて、雑損控除、医療費控除、寄付金控除などを受けない方
③公的年金等の収入のみの方で、年金支払者から鰺ヶ沢町に公的年金支払報告書が提出されていて、雑損控除、医療費控除、寄付金控除などを受けない方（遺族・障害者年金受給者は申告が必要）

◆申告に必要な書類等

①印鑑
②給与所得者及び年金所得者は、源泉徴収票
③上記②以外の方は、所得金額の計算に必要な帳簿書類、領収書等（収入と支出がわかるもの）
④生命保険や地震保険に加入している方は、控除証明書
⑤国民健康保険等に加入している方は、領収書
⑥国民年金に加入している方は、社会保険料（国民年金保険料）控除証明書または領収書
⑦医療費控除を受ける方は、前年中に支払った医療費の領収書及び保険等で補てんされた金額のわかる書類
⑧障害者控除の適用を受ける方は、障害者手帳または療育手帳等
⑨その他、必要と思われる関係書類
※領収書の金額集計は申告者本人において事前に集計してください。

2月2日（月）は、国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料（7期）の納期限です！

要介護認定者に対する所得税、町・県民税の障害者控除について（税申告用）

障害者手帳等の交付を受けていない65歳以上の方で、要介護・要支援の判定を受けていて次の要件にあてはまる場合は、所得税や町・県民税の申告の際に障害者控除対象者認定書を添付することで障害者控除が受けられます。

控除対象者は被保険者本人、または被保険者を扶養控除対象者としている親族です。

障害者控除の対象となる要件	障害者の区分	所得控除額	
		所得税	町・県民税
◆要介護度が概ね１～３の方 ◆要介護認定されており、日常生活自立度Ⅱa～Ⅲbの方	障害者	27万円	26万円
◆要介護度が概ね４～５の方 ◆要介護認定されており、日常生活自立度Ⅳ～Mの方	特別障害者 （同居の場合）	40万円 （75万円）	30万円 （53万円）

●対象となる基準は平成26年12月31日現在（死亡者は死亡日）の状況で判定します。判定の結果、非該当となる場合もあります。
●障害者手帳を交付されていて障害者控除の対象となる方でも、介護度が４～５など要件を満たしていれば特別障害者控除の申請が可能です。
●認定書の交付は、被保険者一人につき１通のみの交付となります。
●申請手続き前に介護保険被保険者証（オレンジ色）により介護度を確認してください。認め印をご持参のうえ、町役場健康ほけん課介護保険班へお越しください。
●被保険者の状態を確認する必要があることから認定書は後日郵送されます。
●詳しくは、健康ほけん課　介護保険班へお問合せください。

申・問健康ほけん課　介護保険班
（内167、169）

●暮らしと電気安全　一般財団法人 東北電気保安協会

2月

今月は「省エネルギー月間」です。

国では、毎年２月を「省エネルギー月間」と定め、省エネルギーの意識啓発をはかっております。

限りあるエネルギー資源を大切にするとともに、地球温暖化を防止するため、私たち一人ひとりが、エネルギーを大切に使うよう心掛けましょう。

雪下ろしでは電線に注意しましょう。

雪国の冬、大雪が降った後の雪下ろしで電気の引込線を切った等の事故が時々起きております。

十分にご注意くださるようお願いします。

所得税及び復興特別所得税・消費税及び地方消費税確定申告書作成会場の開設！

五所川原税務署では、次の日程で確定申告書作成会場を開設します。

◆期間：２月２日(月)～３月16日(月)
（土・日・祝日を除く）
◆時間：９：00～17：00
◆場所：五所川原税務署　１階　共用会議室

インターネットを利用して確定申告！

確定申告書作成会場まで足を運ばなくても、自宅や事務所のインターネットで申告などできる「e-Tax」を利用して確定申告をすることができます。

＜「e-Tax」を利用した場合のメリット＞
＊添付書類の省略（提出を省略した書類は保存）
＊還付申告は早期に還付（３週間程度に短縮）
＊確定申告期間中は、24時間いつでも利用可能（メンテナンス時間は除く）

※「e-Tax」で申告するには、
①ＩＣカードリーダライタ
②住基カード（電子証明書付）
の準備が必要です。

詳しくは、国税庁のホームページをご覧ください。また、同ホームページの「確定申告等作成コーナー」を利用して作成することもできます。

問五所川原税務署［☎0173－34－3136］
（自動音声により案内します）

平成27年度認定こども園・保育所等の新入児童を募集します!!

４月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートします。それに伴い、一部の保育所は、教育的要素をあわせ持つ認定こども園へ移行します。

また、認定こども園や保育所等を利用するための手続きが変わります。詳しくは、先月配布したチラシをご覧になるか、お問合せください。

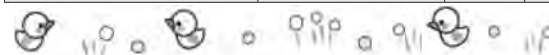
◆入所資格：鰺ヶ沢町に居住し、保護者が何らかの理由で保育することができないお子さん及び満３歳以上の就学前のお子さん

◆受付期間：１月13日（火）～30日（金）

◆募集案内及び申請書類配布場所：
☆福祉衛生課子ども家庭班
☆町内保育所

◆受付場所：継続児は現在入所している保育所、新入児は福祉衛生課または入所を希望する保育所へ。ただし、町外の保育所等へ入所を希望する場合は、福祉衛生課へ提出してください。（印鑑もご持参ください。）

【町内保育所一覧】

施設名（H26年度の名称）	４月以降（予定）	バス送迎	通常保育以外の事業概要	電話番号	所在地
公 鰺ヶ沢保育所	認定こども園	なし	一時預かり・病後児保育・子育て支援センター	72−2067	本町
私 舞戸保育所	認定こども園	あり	一時預かり・延長保育（19時まで）	72−2277	舞戸町
私 中村保育所	保育所	あり	一時預かり・祝日保育	72−2704	中村町
私 なるさわ保育園	保育所	なし	一時預かり	72−6491	北浮田町
私 たていし愛児園	保育所	あり	一時預かり・学童保育	72−1246	建石町
私 みなみ保育園	保育所	あり	一時預かり・祝日保育	79−2530	館前町

問福祉衛生課　子ども家庭班（内143）または　上記各保育所

「放課後ルーム応援団（放課後児童支援員及び補助員）」を募集します！

町では、小学校の児童をもつ保護者の皆さんが安心して就労などができるよう放課後ルームを開設しています。そこで、平成27年４月から児童を見守ってくださる「応援団」を募集します。

◆任期：平成27年４月１日～平成29年３月31日

◆募集人数：10名程度

◆勤務場所・時間　（勤務は月10日間程度）

	場所	時間
西海小放課後ルーム	西海小学校	14：00～18：00
舞戸小放課後ルーム	旧鰺ヶ沢幼稚園	14：00～18：00
１日ルーム 長期休業（夏冬春） 学校行事振替休日	旧鰺ヶ沢幼稚園	８：00～18：00 （13：00で交代）

◆報償：平日（４時間勤務）　2,800円
長期休業時（５時間勤務）3,500円
舞戸小については、引率代300円／日加算あり

◆条件：放課後児童支援員　①子どもが好きで積極的に小学生と遊べる方　②県主催の支援員講習会（年５回程度）に参加できる方　③各勤務場所まで出勤できる方　④携帯電話を所持している方　⑤健康で徒歩移動のできる方（児童引率のため）⑥保育士、社会福祉士、教諭等の有資格者、もしくはこれらの資格と同等の単位取得者、高等学校卒業者で２年以上放課後児童健全育成事業に類似する事業もしくは児童福祉事業に従事した方
放課後児童補助員　上記支援員の条件⑥の要件を満たさなくても熱意を持って積極的に活動してくれる方

◆申込方法：履歴書及び作文を持参
作文のテーマ「子どもたちとの接し方」（400字程度）

◆申込締切：２月20日（金）

申・問福祉衛生課　母子支援センター（内300、301）

赤十字活動資金にご協力ください

日赤青森県支部では、２月１日より、平成27年度に実施する赤十字活動の資金確保のため、≪赤十字社員増強・社資増収運動≫を実施します。

日本赤十字社が果たす役割と赤十字社員増強・社資増収運動趣旨をご理解いただき、日赤青森県支部が行う赤十字活動の普及・推進のため、鰺ヶ沢町民のみなさまの赤十字社員への加入並びに平成27年度の社資（社費・寄付金）のご協力について、よろしくお願い申し上げます。

問日本赤十字社青森県支部　組織振興課
［☎017－722－2011］

「相続登記はお済みですか月間」無料相談

司法書士会では、毎年２月を「相続登記はお済みですか月間」と定め、相続登記に関する無料相談会を実施しています。

◆相談内容：相続登記に関すること
◆期間：２月１日～28日の１ヶ月間
（土・日・祝日は除く）
◆場所：県内の各司法書士事務所
◆費用：初回無料（２回目以降や具体的な手続きは有料）
※ご相談にスムーズに対応させていただくため、事前に各司法書士事務所へご予約をお願いします。

問青森県司法書士会［☎017－776－8398］

Kia Ora★キア・オラ

津軽弁を初めて聞いたのは鰺ヶ沢に来てからです。「わんつか」「はらちぇ」「へば」など、おもしろい言葉がいっぱいですね。では私からニュージーランド弁をわんつか教えたいと思います。飴はLollies（ロリズ）、コンビニはDairy（デアリー）と言います。DairyでLolliesが買えます。Munted（マンテッド）は「壊れている」、Wop wops（ウォプ・ウォプス）は「田舎」と言う意味で、鰺ヶ沢はWop wopsにあります。最後にGive it heaps!（ギブ・イット・ヒープス）は「頑張れ！」という意味です。皆さんぜひ覚えてみてください。
じゃ、へば！
［ヘイリー記］

「第31回 チャリティー芸能発表会」開催

◆日時：２月22日（日）開演10：00（開場９：00～）
◆会場：舞戸公民館ホール
◆内容：町内各婦人団体による芸能発表
◆入場料：300円
＊主催：「鰺ヶ沢地域婦人団体連絡協議会」
＊後援：「鰺ヶ沢町・鰺ヶ沢町教育委員会」

申・問教育課　社会教育班（内333）

☆★今月のおすすめ本★☆

◎一般書「猟師の肉は腐らない」

作者：小泉　武夫　　出版社：新潮社

世界を巡った末に故郷、阿武隈の山奥に戻った猟師の義っしゃん。愛犬をお供に猪を狩り、岩魚を釣り、灰や煙を使って保存食を作り、冬に備える。

「蜂」も「まむし」もなんだってご馳走になる。自然と生きる猟師の暮らしはスケールが違います。学ぶことがいっぱいです。

◎児童書「みずいろのマフラー」

文：くすのき しげのり　絵：松成 真里子
出版社：童心社

みずいろのマフラーをしているヨースケは、なんでもぼくらのいうとおりにした。ぼくらも、すごく悪いことをしているとは、思っていなかった。転校生ヨースケとぼくらの人間関係を通じて「本当の友達とは？」を考えるきっかけとなります。

友情、愛情について感じられる一冊です。５歳～

〔鰺ヶ沢町子ども読書活動推進委員会〕

おすすめ本は、日本海拠点館図書コーナーで貸出しています。新刊もどんどん入荷していますので、ぜひご利用ください。
◆図書コーナー開館時間　９：00～18：00
◆休館日　　月・火曜日、第４木曜日

問日本海拠点館［☎72－5555］

～有料広告募集中～

「広報あじがさわ」に広告を掲載しませんか？

★規格・掲載料一例（町内）★
１号：タテ45㎜×ヨコ85㎜　5,000円
２号：タテ45㎜×ヨコ180㎜　10,000円

問総務課　財産管理班（内242）

スイミングクラブ新規会員募集中！

鰺ヶ沢スイミングクラブでは、新規会員を随時募集しています。無理せず楽しく運動し、健康な体をつくりましょう！

寒い季節でも
プールは元気に営業中！

問室内温水プール［☎72－5700］

急増しています！消費者トラブル！

やってみよう！だまされ度チェック

① 人に勧められると断れない………………………… □
② 家にこもりがちで生活に刺激が少ない………… □
③ 心配性で、自分の気持ちをはっきり言えない… □
④ 健康のことが気になる…………………………… □
⑤ だまされるのは運の悪い人で、自分は「大丈夫」… □
⑥ 服装や言動で人を判断しやすい………………… □
⑦ 「お得な話」や「もうけ話」に関心がある…… □
⑧ 「限定品」や「先着」という言葉に弱い……… □
⑨ 何事も誰にも相談せず一人で決めてしまう…… □
⑩ インターネットの情報は確かだと思う………… □

いくつ☑がありましたか？☑が多いほど、トラブルにあう危険性が高いと考えられます。

対策　○常時、留守電設定にする　○電話帳の名前を削除依頼する　○インターホンごしに対応する　○多額の現金を手元におかない　○相談窓口を目立つ所に貼っておく

とくに、高齢者の方がだまされていないか、また、だまされるのを未然に防ぐためには、周囲の見守りも重要なポイントです。家族や地域のみんなで高齢者の暮らしの変化に気を配りましょう！

おかしいな、あやしいなと思ったらすぐに相談！

青森県消費生活センター［☎017－722－3343］
相談受付時間：平日　9：00～17：30
（年末年始除く）土日祝日　10：00 ～ 16：00

問福祉衛生課　生活衛生班（㊥147、148）

「中高年のための就活倶楽部＆就職個別相談」を開催します

就職のすすめ方がわからない、経験を生かしたいがどんなふうに伝えたらいいか？資格取得の情報を知りたい…など、新たな就職でお悩みの方におすすめです。

◆日程：２月27日（金）
10：00～12：00　再就職支援セミナー（定員20名）
「転職・再就職活動の前にすべきこと」
13：30～16：30　就職個別相談
◆開催場所：五所川原市民学習情報センター
（五所川原市一ツ谷503番地５　☎0173－38－5115）
◆対象者：45歳以上の方　◆参加無料
◆申込み：電話またはメールで下記までお申込みください。

申・問あおもり中高年就職支援センター
［☎017－715－5816／メールアドレス：info@a-ckn.jp］

正しい操作で 安全除雪!!

毎年、雪のシーズンになると除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う際には、次の点に注意して操作しましょう。

(1) 作業を行う前に、必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。
(2) 雪詰まりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、回転部（オーガ、ブロワ）が完全に停止してから雪かき棒を使って行いましょう。
(3) 回転部に近づくときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから行いましょう。
(4) 後進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足もとや後方の障害物には十分注意しましょう。
(5) 除雪作業中は、雪を飛ばす方向に、人や車・建物がないことを確認しましょう。また、除雪機のまわりには絶対に人を近づけないようにしましょう。
(6) 安全装置が正しく作動しない状態では使用しないようにしましょう。また、安全装置を意図的に解除したり、故障を放置したままにしないようにしましょう。

問一般社団法人日本農業機械工業会／除雪機安全協議会
Webサイト：http://www.jfmma.or.jp
［☎03－3433－0415］

防災

◆屋根の雪下ろしに要注意
◆自主防災組織で地域を守る

問総務課　防災班（内214、219）

☆屋根の雪下ろしに要注意！

冬は、積雪が増えるとともに、除雪や屋根の雪下ろし等の事故が発生しやすくなります。特に屋根の雪下ろし作業中の事故は、大けがにつながりやすく非常に危険です。作業をする場合は、細心の注意を払い、次のことなどに気をつけましょう。

◆雪下ろし作業は複数人で！…はしごを支えたり、周囲の安全を確認するため、作業は複数人で行いましょう。また、やむを得ず一人で行う場合は、家族や近所の人に声をかけてから行いましょう。

◆万全な装備を！…作業は動きやすい服装で行い、ヘルメットと命綱を着用しましょう。慣れた作業でも油断や無理をしないこと！

◆気象情報に注意！…暖かい日や雨の降った後は屋根が滑りやすいので注意しましょう。

☆自主防災組織で地域を守る！

大地震などの災害が発生したとき、自分の身を守り、できるだけ被害を少なくするためには、普段から各家庭において備えや心構えをしておくことが重要です。しかし、それぞれの家庭がバラバラに行動していては、地域の混乱を招き、被害が拡大する可能性があります。

災害が起きたときに必要な助けや支援には「自助」・「共助」・「公助」の3つがあります。その中でも、住民同士が協力して自分たちの身を守る「共助」が防災・減災の要といえます。

なぜなら、大規模災害時には、道路の寸断や建物などの倒壊により、行政や自治体の公的機関（消防や自衛隊など）が十分に対応できないおそれがあります。予断を許さない状況下では、自分たちで身の安全を守り、隣近所の人たちと協力して被害にあった人たちを救助・救援しなければなりません。

そこで、被害を最小限に抑えるため、地域に住む皆さんがお互いに協力し合い、地域の防災活動を効果的に行うことを目的としているのが「自主防災組織」です。

町内会等で組織される自主防災組織は、「共助」のための大切な役割を担います。いざというときに備え、地域ぐるみで助け合う自主防災組織を設立しましょう。

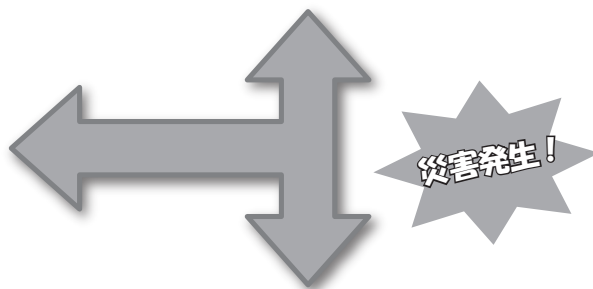
「共助」

共助とは「自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る」ということ。これが地域を守る、最も効果的な方法です。災害時に頼りになるのは、隣近所の人たちです。普段から近所づきあいを大事にしておくことにより、近隣住民同士の手助けが可能になります。

また、あなた自身が隣近所の人たちを助けに行けます。地域で過去にどんな災害が起きていたのかなど、地域の特性は昔からそこに住んでいる人がいちばん知っています。自主防災組織を結成し、住民同士で災害に備えましょう。

（※町役場に「自主防災組織結成届」の提出が必要です。）

「自助」

自助とは、「自らの身は自分で守る」ということ。普段から災害に関する知識を身につけ、正しく理解し、何を備えておけばよいのかを考え、準備をしておくことが大切です。災害からあなたと家族の身を守れるのはあなた自身です。

「公助」

公助とは、役場や消防・警察等による救助活動や支援物資の提供など、公的支援のことです。

★鰺ヶ沢の海の幸 貴方の元へ届けます

冬の寒いこの時期には、日本海からの潮風が吹き荒ぶ鰺ヶ沢漁港前。そこにどっしりと身を構える「株式会社竹太商店」（滝渕慎一社長）は、創業から60余年を数える老舗の水産卸売店です。

同社では、地元・全国を問わず、主に企業向けの水産物販売を手掛けており、４つの海に接する青森県の地の利を活かした様々な魚種とバラエティに富んだ水産加工をセールスポイントとしています。

また、インターネットによる企業間商取引が可能なウェブ通販サイト「フーズ・インフォマート」に出店し、業務用として広域的な販売も行っています。

寒風の中、干される「鮭とば」

★努力の結晶は超珍味！「ヒラメのカラスミ」

この度、㈱竹太商店より新たな商品として、日本三大珍味のひとつであるボラのカラスミならぬ、ヒラメのカラスミ「ひらめっ仔物語り」が誕生しました。

この商品は、滝渕社長の長男で、同社従業員の滝渕大輔さんが開発したもの。これまで大量に廃棄されてきたヒラメの卵を活用し、うまく商品化できないかとの思いから、加工方法など調べていくなかで、「ヒラメの卵でカラスミを作ってみたい！」と奮い立ち、開発に挑戦しました。

大輔さんは、周囲に反対されながらも仕事の合間に時間を見つけては試作と改良を繰り返し、５年もの試行錯誤を経て、ようやく納得のいくものを作り上げました。

そして、平成26年12月９日、完成披露会が行われ、商品として大々的にお披露目されたのです。

大輔さんは、「この味の完成度はあえて80％までに留め、残りの20％は料理を作る方に引き上げていただきたい。お互いの手で、このヒラメのカラスミを完成させるというのも面白いと思う」と、これからの商品づくりにも繋がるような熱い思いを語ってくれました。

負けず嫌いな大輔さんの努力と苦労が実って生まれた商品

ヒラメのカラスミ「ひらめっ仔物語り」

ヒラメのカラスミは、ヒラメの卵を塩漬けした後に酒で塩分を抜き、天日干しにしたもの。ボラよりもねっとりとした食感と濃厚な魚卵の味わいが大変珍味で、酒の肴として地酒との相性も抜群！また、新しい食材として秘めている可能性に、「町の新名物となるのでは」と大いに期待が高まっています。

現在は一般販売等されていませんが、ヒラメの水揚げが増える４月からは商品を増産し、取扱店舗も徐々に増やしていく予定だということです。

卸売店として、港町あじがさわを長年支え続けてきた㈱竹太商店。時代とともに新しい挑戦を続け、社員一丸となって町の活性化に一役買いたいという頼もしさが伝わってきました。

株式会社　竹太商店
住所：鰺ヶ沢町大字本町
電話：72－3101

（「あじ行く？」スタッフ　記）

★観光ポータルサイト「あじ行く？」（http://www.ajiiku.jp/）もご覧ください。

こんにちは！地域おこし協力隊です　～こんなことに取り組んでいます～

こんにちは。協力隊の斉藤です。初めての雪国生活で毎日ハラハラしながら車の運転をしています。

今回は、協力隊の活動に関する取組についての報告です。昨年の秋頃、町の観光事業者と観光協会にご協力をいただき、町への旅行客を対象としたアンケート調査を行いました。この調査は、旅行客の動向や実際に観光して感じたこと、思ったことなどについての情報を収集し、協力隊としての今後の活動の参考にしたいと思い実施しました。まとめた結果について、一部報告させていただきます。

（※調査結果は、回答数の多い順からランキング形式にしています。）

★年齢と居住場所を教えてください。

<年齢>

1位：60代　2位：70代以上　3位：50代

→シニア層の旅行客が多く、50代以上の合計が全体の75%を占めていました。

<居住場所>

1位：首都圏　2位：関西　3位：秋田県

→旅行客全体の約50%が首都圏からでした。関西からの旅行客が意外に多くびっくりしました。またお隣の秋田県からも関西と同じくらい旅行客が来ていました。

★鰺ヶ沢町のイメージ、思い浮かぶモノは何ですか？

1位：わさお　2位：日本海・海　3位：相撲・元舞の海関　4位：イカ・焼きイカ・イカのカーテン　5位：魚・海の幸

→1位～5位は町を代表するモノでした。わさおに会うために町に来たという回答も見られました。そのほか、**「白神山地」「りんご」「岩木山」「温泉」「自然豊か」「景色が良い」「食べ物がおいしそう」**などの回答がありました。中には「アジ」という回答もあり、「鰺ヶ沢だけにアジがたくさん釣れるのでは」というイメージがあるようです。

★鰺ヶ沢町のどちらに行かれましたか？

1位：白神の森　遊山道　2位：海の駅わんど　3位：わさお　4位：焼きイカ通り　5位：鰺ヶ沢相撲館

→「白神の森 遊山道」は団体ツアーの旅程に含まれていることもあり、多くの回答がありました。「海の駅わんど」では、観光シーズンに県外ナンバーの車もたくさん見かけました。やはり町のイメージであがっていた「わさお」「イカ～」「相撲～」に関する施設に多くの方が行かれているようです。

★鰺ヶ沢町を観光しての感想・意見はありますか？

「新鮮な魚、お米、宿泊ホテルの料理がおいしかった」「春の桜や冬のスキーなど別の季節に来てみたい」「紅葉・星空がきれい」「景色がよい」「岩木山がステキ」「りんごがかわいかった」など。

ほかにもたくさんありましたが、私が特に嬉しかったのは、**町民の皆さんが温かくて親切だった**という感想が多く見られたことです。自分のことではありませんが、褒められると嬉しいですね☺　鰺ヶ沢の皆さん、さすがです！

そして、良い所もあれば・・・ということで、こんな意見も。**「アピールが足りない」「観光交通が不便」「駅前周辺が寂しい」「海岸のゴミが気になった」**などありました。

今回のアンケート調査では、町の観光における現状の把握と、旅行客目線の意見や感想を知ることができました。この結果をふまえ、4月から学んできたことなどを結び合わせながら取組を考え、いろいろな方にアドバイスをいただきながら活動を進めていきたいと思っています。今後の活動についても、また随時報告させていただきます。

最後になりますが、観光事業者の皆さま、観光協会の皆さま、大変お忙しい中調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

（地域おこし協力隊 斉藤 記）

町史こぼれ話 No.112

―お正月の樽代

今はどうであろうか。昔はお正月になると普段おつき合いしている人に、なにがしかの贈り物をするならわしがあった。といってもお金持でないとできない話だが。

鰺ヶ沢二丁目㊁家の明治八年（一八七五）一月一日の記録を覗いてみよう。

この日㊁家では次の人々に贈り物をした。

區長　三浦清一殿　一樽代（何がしかのお金を差し上げた。區長は西郡の郡長のような役目）

戸長　新岡萬太郎殿　右同（戸長は今の町長）

副戸長　池田庸一殿　右同（今日の助役）

同　手塚軍平殿　右同

これらの人たちは町の行政にあたっているので、戸沼家としては敬意を表したものであろう。何円位包んだのだろうかなあ。今日ではちょっと法に触れそうだが。

本家の戸沼治右衛門と願行寺（同家は願行寺の檀家）にも同じ。

一月四日には次の人々へ。

金一朱　中田□殿　この人も戸長である。

金一朱　神　義隆殿

もう一人あるのだが虫食いで見えないのが残念。この三人については樽代に及ばずとありながら「尤年頭に出すべきこと」としている。

この外に消防の人々やお寺等へもお金を差上げている。消防にはお世話になることがあるので、とくにあげているのだろう。当時は火災が多く、今日のように消防車から放水するということはなく、手押しのポンプ龍吐水というもので水をかけたが、余り効果はなかったようで、いっさん家をつぶすという消火の仕方だった。

金弐朱　消防組頭加藤仁左衛門

一同　同断　加嶋　長兵衛

一同　同断　戸沼　源蔵

一同　高沢寺　法王寺　来生寺　永昌寺

全部のお寺に樽代をくばっている。

（桜）

わが町遺産［第32回］願行寺の芯去柱（がんぎょうじ の しんさりばしら）

所在地－新町　願行寺本堂

願行寺の本堂に入って、ひときわ目につく見事な２本のケヤキの丸柱。よく見ると、どちらも木の年輪の芯がありません。これは、わざと年輪の中心を外して製材されているからで、「芯去柱」と呼ばれます。芯の無い柱は、ひび割れすることがないので、いつまでも美しく、最上級の建材とされています。

願行寺本堂では、この丸柱の他にも、柱の上に渡された４本の梁、正面玄関の２本の角柱などに、同じ芯去のケヤキが使われています。なんと、これらの芯去の全てが、元は１本のケヤキの巨木から（年輪の中心を外して）切り分けられたものだったのです。今回その歴史をひも解いてみることにしましょう。

明治16年（1883）11月、鰺ヶ沢沖に、２本のケヤキの巨木が流れ着きました。当時の記録によると、長さ9.6m、厚さ1.3mもある巨木で、１本には、星形の五環紋（東本願寺の印）が押されていたそうです。実はこのケヤキ、東本願寺（真宗大谷派本山）再建のため、石川県美川港から北前船に積み込まれた木材でした。ところが途中、船は突然の浸水により福井県沖で沈没。積まれていた木材が、はるばる日本海を漂流してきたのでした。

分割された丸柱の直径だけで約39㎝もあり、しかも芯去であることから、元のケヤキがいかに太い巨木であったかがうかがえる。
※写真は、昨年見学に訪れた東洋大学学生の皆さん。

２本のうち１本は、その後東本願寺に送られて御影堂の用材となります（明治28年落成）。また１本は、当時再建の途中だった願行寺の本堂に使われました（明治20年落成）。約600㎞をともに旅してきたケヤキの巨木が、今も京都の本山と、わが町のお寺の本堂を支え続けているなんて、まことに不思議なご縁で結ばれているとは思いませんか。

（町学芸員　中田）

交通事故でお困りのときは　どなたもお気軽に！

交通事故相談窓口をご利用ください。

青森県交通事故相談所

相談時間　8：30～17：30
（土日祝日・年末年始を除く）

まずはお電話を。。。
☎017－734－9235
青森市長島1－1－1　青森県庁 北棟1階

反射材をつけよう！

歩行者から車のライトが良く見えても、車のドライバーからは歩行者がきちんと見えているとは限りません。
反射材を身につけていると、車のライトが反射して、ドライバーに自分の存在を早く知らせることができます。夕暮れ時や夜間に外出するときは、交通事故防止のため、反射材用品を身に付けましょう。

今月の戸籍の窓

※下記は、関係者に確認のうえ、了承を得た方のみ掲載しています。

～お悔やみ申し上げます～
（12月16日～1月15日届出分）

氏名	年齢	地区
長谷川　ヨシヘ	（89歳）	本町二丁目
白取　リツ	（82歳）	大宮
盛永　つせ	（102歳）	新町
田中　武義	（89歳）	中下
村上　ちや	（97歳）	漁師町
湊谷　彌生	（90歳）	新田
鶴田　光郎	（77歳）	種里町
神　誠一	（71歳）	本町二丁目
今　キクエ	（89歳）	中下
由利　リヱ	（88歳）	大和田
小野　金一	（81歳）	浜町
須藤　さよ	（87歳）	南浮田町
工藤　サキ	（87歳）	細ヶ平
滝澤　キヨ	（94歳）	一本杉
小笠原　四季	（93歳）	山田野

～こんにちは！赤ちゃん～
（12月16日～1月15日届出分）

氏名	（保護者）	地区
中田　知希	（靖人）	仙台市
神　絵美里	（徳臣）	小屋敷町
大島　颯太	（良介）	千葉県流山市
北村　真心	（大雅）	北浮田開拓
世永　麻尋	（秀樹）	赤石
田中　伊織	（拓也）	長平町
大谷　橙駕	（一将）	一ッ森町

～ご結婚おめでとう！～
（12月16日～1月15日届出分）

氏名	地区
齋藤　勇真	（坂本二）
奈良　梨穂	（坂本二）

鰺ヶ沢町の人口
（平成26年12月末現在）

▼男	5,141人	（ 5,136　＋ 5）
▼女	5,878人	（ 5,895　－17）
▼計	11,019人	（11,031　－12）
▼世帯数	4,659	（ 4,662　－ 3）

※カッコ内は先月との比較

鰺ヶ沢町の交通事故発生状況
（平成26年12月末現在）

▼発生件数	23件	（＋ 6）
▼死者数	0人	（± 0）
▼傷者数	31人	（＋ 9）

<※カッコ内、去年との比較>
《お問合せ》鰺ヶ沢警察署交通課
（☎72－2151）

発行・編集　鰺ヶ沢町政策推進課　TEL〇一七三－七二－二一一一　FAX〇一七三－七二－三七四四

★赤石芸能保存会が大晦日恒例のしめ縄・俵奉納

12月31日、赤石芸能保存会では、貴野神社へしめ縄・俵奉納を行い、新年の無病息災、町内安全などを祈願しました。

これは、大晦日の朝の恒例行事で、翌年成人になる若者が奉納俵を背負い、登山囃子の音色とともに町内を練り歩き、最後に貴野神社へ奉納するもの。しかし、少子高齢化の影響もあり、今年は該当する若者がおらず、赤石公民館担当の町職員がこれを体験。代役ではありましたが、奉納俵はしっかりと背負われ、しめ縄、絵馬とともに無事神社へ奉納されました。

★南浮田子ども会が高齢者にプレゼント！

12月23日、南浮田子ども会が「みんなで作ろう！“愛情たっぷり弁当”づくり体験！」を開催しました。

子どもたちは、日頃お世話になっている地域のおじいちゃん・おばあちゃんにプレゼントしようと、14名が弁当づくりに挑戦。お母さんたちの協力を得ながら、感謝の気持ちと愛情をたっぷり込めて弁当を手作りし、手書きのメッセージを添えて、地域の75歳以上の高齢者10名に届けました。

子どもたちから手作り弁当を受け取った方々は、「ありがとう」と嬉しそうな笑顔で感謝していました。

子どもサンタがおばあちゃんにクリスマスプレゼント☆

★地域のみんなで新年を祝う「舞戸地区新春ふれあい広場」

1月11日、舞戸地区町内会連絡協議会（國谷正春会長）主催による「舞戸地区新春ふれあい広場」が舞戸公民館で開催され、子どもから高齢者まで約250名が参加しました。

会場では、そばなどが振る舞われ、ステージでは舞戸保育所の園児や舞戸小学校三味線部の児童たちによるアトラクションが披露されたほか、ビンゴゲームや町内対抗くじ引きなど、みんなが楽しめる内容で大変盛り上がりました。また、毎年恒例の餅つきでは、子どもたちも大人の手を借りながら餅をつきました。

ティッシュ箱・空缶積みゲーム

★新年を清々しくスタート「新春！走り初め2015」

１月４日、真冬の晴天の中、「新春！走り初め2015」が開催され、約40名の参加者が、およそ３㎞の雪道を駆け抜けました。

これは、（一社）鰺ヶ沢町観光協会（杉澤廉晴会長）が、以前行われていた「元旦走る会」をヒントに白神マラソン村の年始イベントとして行っているもので、今年で２年目。参加者は、駅前観光案内所前を並んでスタートすると、途中「白八幡宮」（本町）を参拝し、海の駅わんどでゴール。見事全員が完走し、寒い中走り切った皆さんに温かいうどんなどが振る舞われました。

西海小ミニバスケットボール部の児童が大勢参加してくれました！町民の皆さん、来年はぜひ一緒に走りましょう！